

第1章 食料の需給

I 明治44年～昭和10年の間（5ヵ年平均値）

「国民食糧の現状」日本学術振興会 昭和14年2月

1. 年度別食料需給表

共通事項

1. 本表作成のために用いた資料は次のとおりである。
 - (1) 国内生産量 農林省統計表による。ただし、油脂類は商工省統計表による。
 - (2) 輸出入量 日本貿易年表、朝鮮貿易月表、樺太庁統計書及び南洋庁の報告による（移出入量を合せ含む）。なお、畜産物については、農林省畜産局編纂 畜産提要による。
2. 国内消費仕向量については、国内生産量+輸入量-輸出量によって算出したが、次の品目については、前年の生産量をもって国内生産量とした。

米、そば、あわ、ひえ、きび、大豆、小豆、いんげん、落花生、ごま、とうもろこし
3. ごま及び豆類の欄の種子・加工用等の（ ）は、製油用に使用した数値でありうち数である。
4. 本表は、5ヵ年間の平均値として表示されているが、特に断わってある品目以外については、統計資料の欠如した年はこれを除外して平均してある。